

# 元木62<sup>キ</sup>級「金」

レスリング女子

## 父と2代出場、頂点に



【パリ共同】パリ五輪第16日の10日、レスリング女子62キロ級決勝で初出場の元木咲良(22)が育英大助手Ⅱがイリーナ・コリアデンコ(ウクライナ)に快勝し、金メダルを獲得した。

埼玉県出身。組み手やタックルなどに優れた攻撃で、2021年東京五輪女王の恒村友香子(旧姓川井)らを破って代表になった。昨年の世界選手権2位。父で00年シドニー五輪男子グレコローマンスタイル63キロ級代表の元木康年さんと2代出場となり、父が届かなかった頂点に立った。

【元木咲良の話】いろんな人の力を借りて、支えてもらった。金メダルを取ることができて本当にうれしい。私だけがもうのは申し訳ないくらい、たくさんの人にお世話になった。みんなに分けてあげたいくらい大きいメダル。

(詳細は12日付朝刊で)



女子62<sup>キ</sup>級で金メダルを獲得した元木咲良Ⅱパリ(共同)



レスリング女子62kg級

元木咲良 もときさくら

2022年世界選手権59kg級3位、  
23年62kg級2位

- 2002年2月20日生まれ(22歳)
- 埼玉県出身
- 身長160cm

